

菊地 齒車社長

菊地 義典氏

菊地齒車は自動車関連産業の盛んな両毛地区で、周

辺企業と連携しながら技術力を高め



てきた。

日産自動

車の「キューブ」に採用されているe-4WD（電気式4輪駆動装置）の、開発から量産化までにかかわった。

菊地義典社長は義治

会長の二男。跡継ぎと

して入社し、經理から

勉強を始めた。バブル

經濟崩壊後の厳しい時

期で、「会社始まって

以来、初の赤字決算を

経験した。このままで

は潰れると考えさせら

れた」（義典氏）と振

り返る。

時代の流れとともに

顧客は変わったが、

「試作から量産化まで

一貫対応できるのが武

器になることは変わら

「発展調和」の実践を

ない」（同）。入社時

に比べ、売上高は2倍

の30億円に膨らんだ。

「次の目標は50億円。

だが中身が重要にな

る。経常利益率10%を

確保し、バランスの取

れた成長を遂げたい」

と社是である「発展調

和」の実践を目指す。

趣味はラグビー観戦。

休日は専ら家族サービ

ス。

（栃木支局長・鈴木豊章）

93年（平5）早大理工卒、同年菊地齒車入社。00年専務、03年営業本部長を兼務。栃木県出身、35歳。7月1日就任。（栃木県足利市福富新町726の30）